

口から食べる幸せを守る 講演抄録

NPO法人口から食べる幸せを守る会 小山珠美

本邦では、超高齢社会が加速するなか、平均寿命は世界一です。その一方で、過度な誤嚥性肺炎の懸念や生命における価値観の多様化などで、食べたい願いが叶わない要介護高齢者も増えています。今回の講演では、口から食べる幸せを守るための課題として、個人的健康問題に加えて、人的・社会的な阻害因子が孕んでいることをお伝えしました。では、どうすればよいか？それは、他力本願ではなく、自分の家族は自分が守るという強い意志を持ち、食べることへの知識や食事介助技術を培っていくことです。思いだけでは口から食べる幸せを守れません。自然災害ともいわれているCOV I D-19から身を守ることと同じ構図です。人間は誰もが程度の差こそあれ不完全です。不足や困難もあれば、強みや良好な側面を有している生活者として存在しています。皆さんで「人生の最期まで口から食べ続けられる社会の実現」への道筋を創り出してほしいと願っています。